

第27回参議院選挙 「働くことを軸とする安心社会」の実現へ 連合推薦 勝部けんじがV2勝利!!



第27回参議院選挙は、7月20日に投票を迎え、連合北海道推薦、立憲民主党の現職・勝部けんじさんが見事当選を果たしました。選挙戦では、給付や減税など物価高対策や社会保障などの課題に対して「物価高から生活を守る！地域を支える！」と全道で遊説を展開。食料品の消費税ゼロ、ガソリンの暫定税率廃止などを訴え、「物価高対策や教育・保育の環境の再整備、食料自給向上に取り組み」と語りました。

民主党の新人・鈴木まさきさんは、「手取りを増やす夏にする」と力強く訴えたものの、わずかに及ばず残念な結果となりました。

比例代表、連合推薦候補9名が勝利！

比例代表では、10名が連合推薦を受け立候補し、9名（立憲5名 国民4名）の当選を勝ち取りました。連合の今次選挙における必達目標を超え「参議院での与党過半数割れ」の結果を得ることとなりましたが、政権批判票の分散で野党勢力の分散が進む形となり、与党と対峙する政治状況をつくれるかが今後の焦点となります。

全国における選挙区での投票率は58.51%で前回3年前の選挙より6.46ポイント高くなりました。物価高や格差拡大、将来不安を抱える有権者の意思が表れた選挙結果です。

自分たちの未来をしっかりと考え、自分の1票を、自分が望む未来のためにしっかりと投票すること。働く人や弱い人が「報われる社会」を取り戻すために、これからも行動していきましょう。

最低賃金、全都道府県で時給1,000円突破へ！ 連合北海道最賃対策委員会を開催

連合北海道は7月30日、第2回最賃対策委員会を開催し、北海道地方最低賃金審議会にむけた連合北海道の取り組みについて確認しました。

最低賃金をめぐる情勢

北海道の最低賃金は昨年度の審議会答申において、50円増の1,010円となった。依然として、北海道全体が最低賃金に張り付く形で低賃金構造にある現実と、最低賃金引き上げの取り組みが道内経済の底上げ、セーフティネットの役割として非常に重要であることが確認できる。

政府は全国加重平均1,000円達成後の新たな中期目標として「2020年代に全国平均が1,500円となることをめざす」とし、より速い達成をめざすとしているが、本来あるべき最低賃金の水準として「賃金中央値の6割水準」への到達をめざす。

北海道の連合リビングウェイジ1,160円の達成

最低賃金の大幅引き上げと早期発効を！

はもとより早期の時給1,250円において、経済活性化施策の展開、道民所得の底上げのための最低賃金引き上げ、雇用政策の強力な展開が図られるよう取り組みを強化するとしました。

連合北海道は、最低賃金の改正主旨にある「健康で文化的な生活」が実現できる地域最賃レベルを実現するため、大幅な引き上げを求める。設定する最低賃金は、北海道の連合リビングウェイジ1,160円や、経験豊富な労働者の時間額が、道内高卒初任給（時間額1,139円）を下回らない水準の確保を求めながら、当面の目標額を時給1,250円とするが、今年度の北海道最低賃金改定目標額は、中賃目安+αとしたい。また、10月1日の早期発効をめざし（答申期限8月5日）、精力的に審議を進めるよう求めることができました。

石狩地域、昨年を上回る賃上げ！ 「2025春季生活闘争中間まとめ」

全石狩地域闘争委員会は「2025春季生活闘争中間まとめ」および今後の取り組みと課題について確認しました。

本年の賃上げ・労働条件交渉も昨年に続き記録的な物価高という厳しい情勢の中で行われてきました。賃上げ回答状況では、規模別には依然として格差があるものの、すべての組合が組合員の生活の安定や「一人への投資」と月例賃金の引き上げにこだわった要求を掲げ交渉した結果、賃上げの流れが中小・地場組合にも継続している。賃上げの広がりが新たなステージの定着に向け前進していることの意義は非常に大きいものがあり、今後につながる成果として評価するものです。

石狩地域の2025春季生活闘争は最終盤の取り組みを迎えています。賃金交渉に関する登録組合の拡大、地域最低賃金改善に向けた取り組み等、残る課題の積極的推進に努め、石狩地域すべての働く者の労働条件改善に取り組みます。

【全石狩地域 参加82組合 妥結50組合 公表・集計可能47組合】					
※昨年集計 参加75組合 妥結52組合 公表・集計可能50組合					
組合規模	集計組合数	対象組合数	加重平均妥結額 (定昇・ペア込み)	昨年実績額 (定昇・ペア込み)	昨年比
～99	14	614	15,270円(6.01%)	10,356円(4.43%)	4,914円(1.58)
100～299	9	1,818	15,363円(5.14%)	13,091円(4.86%)	2,272円(0.28)
300人未満計	23	2,432	15,345円(5.32%)	12,589円(4.77%)	2,756円(0.55)
300～999	16	7,884	14,718円(5.27%)	12,390円(4.41%)	2,328円(0.86)
1000～	8	20,429	10,667円(4.74%)	11,769円(4.19%)	▲1,102円(0.55)
300人以上計	24	28,313	11,722円(4.88%)	11,968円(4.26%)	▲246円(0.62)
計	47	30,745	11,997円(4.91%)	12,044円(4.32%)	▲47円(0.59)

戦後・被爆80年 次代へつなぐ平和の願い

1945年8月6日、人類初の原子爆弾が広島に投下、8月9日には長崎にも原子爆弾が投下され、広島で14万人、長崎で7万4千人の尊い命が奪われ、多くの被爆者が放射線による後遺症に今も苦しんでいます。

今年には戦後80年を迎えます。原爆が投下された広島・長崎、米軍基地の負担を強いられる沖縄、領土を奪われ故郷を失った北方四島。連合は平和であり続けることの大切さを訴え続け、4つの地での平和行動をはじめ、世界がより良い未来へと向かう、次代につなぐ平和の実現へ取り組みを進めます。

ノーモアヒロシマ、ノーモアガザキ、ノーモアヒバクシャ。私たちは、改めて、核兵器廃絶と恒久平和の願いを強く訴えていかなければなりません。

今年には戦後80年を迎えます。原爆が投下された広島・長崎、米軍基地の負担を強いられる沖縄、領土を奪われ故郷を失った北方四島。連合は平和であり続けることの大切さを訴え続け、4つの地での平和行動をはじめ、世界がより良い未来へと向かう、次代につなぐ平和の実現へ取り組みを進めます。

連合北海道札幌地区連合会ホームページ

労働相談ホットライン
フリーダイヤル いこう よ れんごう に
☎0120-154-052

QRコードで速報をチェック！
<https://rengo-sapporo.jp/>

札幌れんごう

札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル2階
編集発行人 吉田 賢一 ☎210-0505

2025年8月5日 486号
連合北海道札幌地区連合会